

## 令和7年度 河内長野市地域公共交通会議事業計画

(単位:円)

予算科目	事業計画	総事業費	うち市補助	河内長野市地域公共交通計画での位置付け	
				基本方針	取り組みの方向性
1運営費 2事務費 1事務費	振込手数料、資料代等	5,000	5,000		
2事業費 1事業費 1事業費	生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の策定および事業実施	12,223,000	0	①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築	①まちづくり、観光等様々な分野との連携 ④鉄道・バス・乗合タクシー等の様々な公共交通サービスの連携
	市HPやSNSでの幹線系統のPR(沿線施設やイベント情報の発信強化)	98,000	98,000	①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築	①将来像である「集約型連携都市(ネットワーク型コンパクトシティ)」を目指した取り組みの推進 ②他分野と有機的に連携した公共交通施策の展開
	バスマップ・企画乗車券PR/パンフレットの配布 協賛店による企画乗車券の利用特典の提供			①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築	②他分野と有機的に連携した公共交通施策の展開
	運転免許証自主返納者への支援 高齢者を対象とした交通系アプリの使い方教室等			①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築 ②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	②他分野と有機的に連携した公共交通施策の展開
	高齢化に対応したきめ細やかな移動支援を含めた総合的な運送サービスの研究			②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	③基幹的な公共交通と補完的な移動サービスとの連携による高齢者ニーズにきめ細かに対応した移動手段の提供
	フリー乗降の運用状況や課題を踏まえた導入条件・手順等の整理			②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	③基幹的な公共交通と補完的な移動サービスとの連携による高齢者ニーズにきめ細かに対応した移動手段の提供
	3Dマップを活用した移動環境の検証			②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	④ICTを活用したニーズ把握により高い利便性を実現した公共交通サービスの検討
	自動運転に関する調査研究			②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	④ICTを活用したニーズ把握により高い利便性を実現した公共交通サービスの検討
	MaaSアプリ導入による移動の利便性の向上及び将来の展開に向けた研究			②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	④ICTを活用したニーズ把握により高い利便性を実現した公共交通サービスの検討
	公共交通不便地域でのニーズに応じた地域主体の公共交通の検討、支援(楠ヶ丘地域、石見川等地域)			⑤協働による取り組みの推進	⑤三者協働による公共交通ネットワークの維持・最適化の検討
	市HPやSNSでの公共交通情報の発信			⑤協働による取り組みの推進	⑥地域住民が公共交通を「自分事」として考える意識の醸成
	小学生によるバス車内アナウンスやバスの乗り方教室の実施			⑤協働による取り組みの推進	⑥地域住民が公共交通を「自分事」として考える意識の醸成
	路線バス千代田線上限200円運賃の試行の継続			1,043,122	1,043,122
モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行および日曜日限定同伴者割引の試行の継続	1,014,000	1,014,000	⑤協働による取り組みの推進	⑤三者協働による公共交通ネットワークの維持・最適化の検討	
小計	14,383,122	2,160,122			
<b>※生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)に係る予算について</b> 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正により、令和6年度から地域内フィーダー系統の補助金の交付先が乗合事業者から市町村法定協議会に変更となりましたので、補助金交付予定額について令和6年度交通会議予算に計上しています。認定された計画に基づき事業を実施し、補助金については、全額対象となる赤字路線に対し交付する予定です。(補助金額については、毎年変動しますので、R6年度当初の補助金申請時の申請金額としています)					
3予備費 1予備費 1予備費		1,000		備考: 利子収入	

## 令和7年度 河内長野市地域公共交通会議予算

歳入予算額 14,384,122 円  
 歳出予算額 14,384,122 円  
 差 額 0 円

### 1 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算額	備考
1	負担金	1 負担金	0	
2	補助金	1 補助金	14,384,122	市補助金2,161,122円 国補助金12,223,000円
3	繰越金	1 繰越金	0	
4	諸収入	1 雑入	0	預金利子
合 計			14,384,122	

### 2 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算額	備考
1	運営費	1 会議費	0	
		2 事務費	5,000	振込手数料や資料代等
2	事業費	1 事業費	14,378,122	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バス千代田線上限200円運賃の試行</li> <li>・モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行</li> <li>・おび日曜日限定同伴者割引の試行</li> <li>・生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の策定および事業実施</li> <li>・石見川・小深・太井・鳩原地域バス利用促進回数券分</li> </ul>
3	予備費	1 予備費	1,000	↑
合 計			14,384,122	

R7年度からの値上げに伴い、利用促進を図るために、先着50セットに対し、1セット(3000円分)につき、2回乗車分(600円分)の回数券をプレゼントするキャンペーンを実施する予定です。